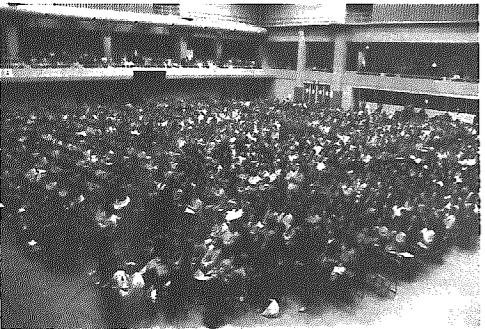


# 祝

# 町

# 制 施 行



会場を埋め尽くした  
2千人に及ぶ人達



女性チーム  
リーダー小林  
幸子  
出場者  
渡辺和子  
「忘れな草をあなたに」  
田村藤美「おもいで酒」  
阿部直子「忍ぶ川」  
光根衆子「女の酒」  
ゲストと地元出場者の  
みなさん



特別審査員の  
みなさん  
写真向かって

左より  
伊藤北方文化博物館  
水上商工会婦人部副部長  
水野N H K新潟放送局長

## 「新潟2001年」番組放送決定 ～お見逃しなく～

11月10日の12時から12時50分にかけて、テレビ新潟企画の「新潟2001年」の番組で、横越町の紹介が行われます。

- 11月1日 町制施行の1日
- 午前7時～（新潟港・横越線脇農道） 祝砲花火打ち上げ
  - 午前8時30分～8時50分（議場） 町制施行町長あいさつ
  - 午前9時～9時10分（役場前） 記念植樹
  - 午前9時50分～9時20分（役場前） タイムカプセル埋設
  - 午前9時20分～9時30分（役場前） 電光表示装置点灯式
  - 10時30分～（総合体育館） 町制施行記念式典同祝賀会

## 95年の変遷を経た今 新たな時代が動き始めた

### 町制施行にあたつて

横越町長 浅見良一

我が郷土「よこごし」は、県下最大の穀倉地帯、蒲原平野の中枢に位置し、阿賀野川・小阿賀川流域の大自然の風土に恵まれ、昔から農業を主産業として大きく発展して参りました。

今日、平成八年十一月一日から町制が施行され新生横越町がスタートしました。十一月一日は、今から九十五年前旧来の横越村、沢海村、木津村、二本木村、小杉村の五村が大同合併して横越村が誕生した佳き日もあります。それを記念として町制へ移行したものであります。誠に感慨無量、新生横越町の誕生を住民とともに心からお祝いし、お喜び申し上げる次第であります。

又、今日は横越町の誕生を祝い、郷土の繁栄を願つて町制施行記念式典を行うほか、保育園児、小・中学生をはじめ全戸にささやかな記念誌等をお届けし、全町民こぞって喜びを分かちました。

町制施行の記念事業の一つであるNHKラジオ番組「ふるさと自慢・うたの自慢」の公開録音には、開場前の午前6時頃より人々が並びはじめ、定時の頃には、二千人に及ぶ人達が会場を埋め尽くしました。

地元の特別審査員や会場より選ばれた審査員が見守る中、三波春夫・小林幸子をそれぞれのチームリーダーとし、地元出場

者等とユーモアを交えてのやり取りで会場を爆笑させたり、又地元出場者の持ち歌の披露と、プロの歌のメドレーが展開された二時間に観客のみなさんは楽しい時を過ごしていました。

11月9日と16日の2週にわたりNHKラジオ第1で、午後9時5分より50分間、収録されたものが放送されます。

### 感動と興奮の一時間 二千人に及ぶ人達がプロ・アマの歌に酔いしれる

の整備促進。併せて新潟空港・港湾等の整備が重点的に図られて参りました。こうして飛躍的に発展しつつある新潟都市圏に

その立地条件を積極的に活用しながら、国・県道の整備、主要

村道の改良、工業団地、住宅団地造成等々に取り組んできたところであります。従つて雇用の促進、人口増、街並形成へと進み、町制の夢が大きく膨らんだことはいうまでもありません。

これも偏重に、多くの先人達が労苦を重ねて築き上げた礎となりますが、町制の夢が大きく膨らんだことはいうまでもありません。

これは、高齢化・少子化対策が緊急の課題とされ、本町における高齢福祉施設も今年度から

事業着手する運びとなりました

が、目下国政の大きな課題とされています。

改革」の展望を踏まえ、自らの行政機能の充実を図り、一世紀を創造する横越町をめざ

ご厚志に感謝

町に対して、株式会社星光堂薬局ドラッグトップスより、町制施行記念事業に役立てて欲しい所存であります。何卒、今まで以上のご支援ご協力を改めてお願い申し上げ、謹んで町制施行のご挨拶といたします。

すことであります。同時に新潟都市圏の展望をも重視し、その一翼を担い得る横越町としての役割と責任を果していかなければなりません。

今後、横越町が「光り輝く里」として郷土の繁栄と住民の幸福を願うことは、永遠の課題であり、町制の施行もその一環であると考え、町制はゴールではなく、新時代の出発点であることを肝に銘じている次第であります。

二十一世紀を前に、内外ともに多難な問題が山積しておりますが、我が郷土「よこごし」の美しい自然と歴史や伝統を守り、個性豊かな魅力ある横越町の建設を住民とともに進めていく所存であります。何卒、今まで以上のご支援ご協力を改めてお願い申し上げ、謹んで町制施行のご挨拶といたします。

時代は、高齢化・少子化対策が緊急の課題とされ、本町における高齢福祉施設も今年度から

事業着手する運びとなりました

が、目下国政の大きな課題とされています。

改革」の展望を踏まえ、自らの行政機能の充実を図り、一世紀を創造する横越町をめざ